

# 南アフリカ為替週報

2021年6月24日 | みずほ銀行欧州資金部

MIZUHO

## ＜過去1週間の動き＞

(6月17日～6月23日)

USD/ZAR: 13.9500～14.4050  
ZAR/JPY: 7.63～7.93 (参照値)

過去1週間の南ア・ランド相場は、続落先行から、底打ち。ただし、底打ち後の反発は弱く、対ドル、対円共に約7週間ぶりの安値水準における低迷を続けた。ランド安先行の背景は、引き続き、16日の米連銀公開市場委員会を契機とした、米早期金融引き締め観測の台頭と考えられた。米金融引き締めは、投資資金流動性の低下を予見させ、ドル高を誘っただけでなく、ランドを含む新興市場通貨全般の重石となった。ただし、米金融引き締め観測台頭を受け米長期金利が上昇したのは、同理事会直後からの限られた時間だけで、その後数日続いたドル高/新興市場通貨安とは平仄の合わない値動きのように見えた。南ア要因では、23日の南ア5月CPIの発表が注目されたが、ランド反発は、同指数を巡る思惑などとは無縁と思われ、通貨市場全般(円など一部の通貨を除く)のドル調整安の一環と考えられた。発表された南ア5月CPIは、昨年同月の物価減速を受けたベース効果の他、食品価格の予想以上の高騰などを受け、強い伸びを示したものの、それも市場の予想に沿った水準にとどまった。南ア準備銀誘導目標(+3～6%)の上限までに余裕もあり、かつ、当面の物価の天井を打ったとの見方も強いことから、南ア準備銀による早期利上げ観測を強める結果にはならなかった。

## ＜過去1週間に発表された主要経済指標等＞

| 月日   | GMT   | 指標         | 期間 | 発表     | 予想*    | 前回    |
|------|-------|------------|----|--------|--------|-------|
| 6/17 | 11:00 | 小売売上高(前年比) | 4月 | +95.8% | +99.7% | -2.3% |
| 6/23 | 8:00  | CPI(前年比)   | 5月 | +5.2%  | +5.2%  | +4.4% |

(\*予想はブルームバーグ社予想中心値)

## ＜向こう5週間の見通し＞

(6月24日～7月28日)

USD/ZAR: 13.750～14.550  
ZAR/JPY: 7.60～8.10

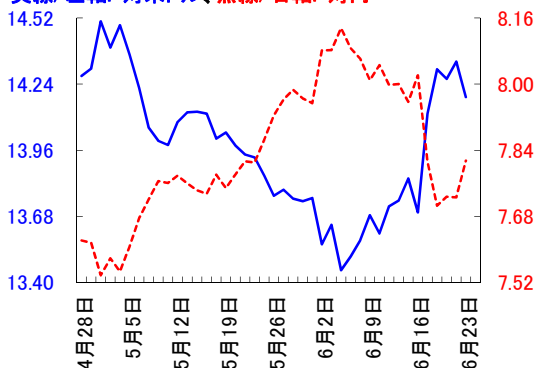
向こう5週間の南ア・ランド相場は、堅調気味の横這いを予想。堅調を見込むのは、足下、南ア政治情勢の安定(ラマポザ大統領の政権基盤強化)を裏付ける出来事が相次いで確認されているから。それでも、ランド上昇予想を中心に据えないのは、南ア準備銀利上げ観測の織り込みが、市場の一部で進み過ぎていると感じるのがひとつ、南ア政治情勢の改善が十分に値動きに織り込まれてしまった感が強いのがひとつ。言い方を変えれば、ランドは既に当面の高値を見てしまったと考えるからだ。南ア政治を巡っては、ズマ前大統領との癒着が疑われたグプター族の国際手配(6月2日)、汚職嫌疑を掛けられたムクヒゼ保健相の特別休暇=事実上の職務停止(6月9日)、個別企業独自の発電容量上限大幅拡大(1MW→100MW)=大企業による安定的な電力確保期待(6月10日)、国営南ア航空株売却決定=一部民営化(6月11日)などの朗報が、6月に入って矢継ぎ早に聞かれた。ただし、これらは、与党アフリカ民族会議(ANC)マガシューレ幹事長職務停止決定(5月5日)以降、ある程度期待された展開と言え、更に元をたどれば昨年8月末のANC全国執行委員会(NEC)の決議(注1)まで行きつく話。目先の注目要因としては、24/25日に開かれる予定の、マガシューレ幹事長が、上述職務停止処分を不服とした法廷闘争(注2)の審議が挙げられる。可能性は低いだろうが、上に列挙した一連の流れが途切れるような内容になれば、ランドの重石となる可能性も警戒される。

## ＜向こう5週間に発表予定の主要経済指標等＞

| 月日   | GMT   | 指標           | 期間 | 発表 | 予想* | 前回      |
|------|-------|--------------|----|----|-----|---------|
| 6/30 | 6:00  | 民間部門信用(前年比)  | 5月 |    |     | -1.76%  |
|      | 12:00 | 貿易収支(ZAR)    | 5月 |    |     | +51.2bn |
|      | 12:00 | 財政収支(ZAR)    | 5月 |    |     | -80.4bn |
| 7/1  |       | 自動車販売台数(前年比) | 6月 |    |     | +197.8% |
| 7/7  | 6:00  | 総外貨準備高(USD)  | 6月 |    |     | 54.14bn |
| 7/12 | 11:00 | 製造業生産(前年比)   | 5月 |    |     | +87.9%  |
| 7/13 | 9:30  | 鉱業生産(前年比)    | 5月 |    |     | +116.5% |
| 7/14 | 11:00 | 小売売上高(前年比)   | 5月 |    |     | +95.8%  |
| 7/21 | 8:00  | CPI(前年比)     | 6月 |    |     | +5.2%   |
| 7/22 |       | 南ア準備銀政策金利    |    |    |     | 3.50%   |

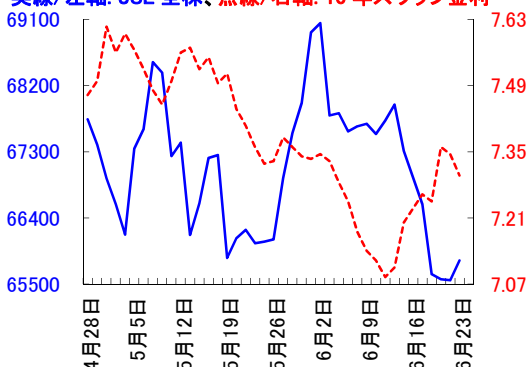
## 為替相場の推移 (資料: ロイター)

実線/左軸: 対米ドル、点線/右軸: 対円



## 株式/長期金利の推移 (資料: ブルームバーグ)

実線/左軸: JSE 全株、点線/右軸: 10年スワップ金利



## 南アフリカ関係主要経済指標

|                       |          |
|-----------------------|----------|
| 政策金利(レボ金利)            | 3.50%    |
| 長期金利(10年スワップ) 6月23日   | 7.300%   |
| 株価指数(JSE 全株) 6月23日    | 65819.63 |
| 成長率(GDP/前年比) Q1       | -3.2%    |
| 経常収支(ZAR) Q1          | +267bn   |
| 失業率 Q1                | 32.6%    |
| 消費者物価(前年比) 5月         | +5.2%    |
| 小売売上高(前年比) 4月         | +95.8%   |
| 製造業生産(前年比) 4月         | +87.9%   |
| 鉱業生産(前年比) 4月          | +116.5%  |
| 貿易収支(ZAR) 4月          | +51.2bn  |
| 金価格(ロンドン 17:00) 6月23日 | 1786.88  |

## ＜お知らせ＞

筆者休暇のため「南アフリカ為替週報」は7月29日の次回発行を予定しております。ご迷惑をお掛けし大変申し訳ありませんが、よろしくご諒承ください。

(注1) 職務一時停止決議(SAR)の採決

(注2) 同幹事長周辺からも、提訴を取り下げよう働きかける動きが出てきたと聞く

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。